

2018年3月25日(日)メッセージアウトライン 「イエス・キリストとバラバと私」

聖書箇所：マタイ27：15～26

タイトル：「イエス・キリストとバラバと私」

テーマ：受難週に入ります。読むたびに心痛む聖書箇所ではありますが、イエス様を十字架につける代わりに赦免された「バラバ・イエス」という人物について考えてみたいと思います。どんな人物であったのか、彼は四福音書全部に名前が記されていますが、それ以外にはよくわからない人物です。今回は敢えて、イエス様が十字架につけられる代わりに赦免されたこのバラバの姿に迫ることによって、イエス様の受難の意味を私たちとの関連の中で掘り下げていきたいと思います。

1. 初めに

文脈の確認 (バラバが赦免されるまでの経緯)

2. バラバ・イエスという男

①彼の名前について

②「バラバ」の意味

*Βαραββας ——アラム語で「父の子」という意味 αββα (アッバ、お父さん)
アラム語で「バル」は「息子」という意味

③「イエス」という名の意味

*ヘブル語で「イエシュア」(旧約に出てくるヨシュアやホセア)は「ヤハウェは救い」という意味

④処刑されることが決まっていた犯罪人

*自分が犯した様々な罪の結果、十字架にかかることになっていたバラバ
(マルコ15：7、ルカ23：19、ヨハネ18：40参照)
・反ローマ暴動の首謀者——ローマへの反逆罪
・人殺し(父親を殺したとも言われている)
・強盗

3. バラバと私たち

①バラバとは誰か——私(たち)です

②バラバのその後——私たちにも残されている二つの道

4. イエス・キリスト

①神のひとり子と呼ばれたイエス・キリスト

*私たち(神に逆らう者)の身代わりとなって、十字架の死にまで従われたお方

- ②神のひとり子がこの地上に人として来られた理由
- ③イエスはバラバをどのような目で見られていたか
- ④イエスの願い
- ⑤地上の命が与えられている間に

5. 結論

- ①イエス・キリストの十字架上の苦しみは誰のためだったのでしょうか。バラバのためであり、キリストを十字架につけろと叫ぶ群衆のためであり、私たち一人一人のためだったのです。イエス・キリストは私の、そしてあなたの救い主です。
- ②私たちは「いのち」をどのように使うのか。
 - *この地上での「いのち」は、まずイエス・キリストを信じて神に立ち返るために。
 - *イエス・キリストにあって与えられたいのちは、他者を生かすために。(イエス・キリストに倣って生きる)
 - *三浦綾子さんの小説「氷点」に登場する宣教師のエピソードから